

2018年3月23日 NHK ラジオ深夜便「明日への言葉」

「捕虜たちの声に耳傾けて」

岡山大学大学院社会文化科学研究科 准教授 中尾知代

聞き手 坂口憲一郎

— 寄せられた声、声、声・・・の数々 —

◆ペンネーム クレソンさんから

たまたま3月23日のラジオ深夜便でお話をお聞きした者です。このような大切なお仕事をされていることに感謝いたしたく、メールをお送りする次第です。

私は1959年生まれです。戦争中、父は旧制中学、母は旧制女学校の生徒で、父の家は3月10日の東京下町の空襲で焼け、母の家は7月7日の千葉市の空襲で焼けました。

母もよく、戦争中の被害も人それぞれで、同じ経験をしないとその気持ちはなかなかわからないものだと言っております。

戦争中の話は、どこの国の人からの話でも辛いものです。先日のラジオのお話を聞いているだけでも苦しい気持ちになるところを、中尾さんのように直接話を聞きくということのご苦勞は計り知れません。

歴史上、どこの国も他国にひどいことをしてきたとは思いますが、それにしても日本軍の上層部のしたことは異常だと思えます。日本人を非難する外国の方に、「その通り、日本軍には日本人こそひどい目にあったのだ」と言いたいくらいです。

私は特別なことはできませんが、戦争を起こさないようにするためにはどうしたらよいのかということはいつも考えております。

大変なお仕事をしていただいて申し訳ない気持ちですが、お仕事のご発展をお祈りいたします。

◆飯島 穂積さんから（南の島コスエラ島での経験(日本軍のポジティブな思い出)や、ビルメロ(ビルマ戦線をきっかけにビルマを愛する人々)の文書を5編、送ってきた方

前略 突然のお便りで失礼の段お許してください。小生は齢既に89歳の老爺ですが、去る3月22日の早朝、偶然枕元のNHKラジオで貴方様のお話を後半だけ伺ったのですが、前の戦争中での事、末端の当事者の気持ちの整理の仕方など大事なご提案、ご研究、と感じました。

小生は終戦時、旧制中学の4年生で、海軍の施設に勤労働員されており直接の戦闘体験はありませんが、今の若い人達の近代史に無知無関心のことには気にしておりました。

そこで思いつきましたのは、私どもの仲間で作っていた雑文集が有り、年令の関係で作業を終了しておりましたが、その中で戦争中立場の違った国の人々との戦後の交流記事など、中尾様のご研究の参考資料にでも使って頂ければと考え、関係ありそうな記事を集めて見ました。私は現在若い人達との接点は全くなく、この様な資料も彼等の

目に触れさせる事など必要ないとの考えも有るかと思存しますが、資料の取捨廃棄など中尾様のご自由にお任せいたします。以上突然のご無礼お許しいただきたく、よろしくお願い致します。

◆松岡喜美子さんから

先日の深夜便はしっかり聴きました。悲しみは時間が優しく包んでくれますが憎しみは何年でも消える事ないと痛感しました。辛い気持ちを持ちながら日々送られている方々の心が一日も早く解放される事を望むと共に誰もが安心して生活出来る地球でありたいと願います。

◆高舘千枝子さんから

オーラルヒストリーで「戦争の捕虜者」に焦点を当て、その声を長いスパンで残そうとしている中尾さんの地道な研究に敬意を表します。

ほとんど知られていない外国人捕虜の声を集めるために誠意をもって聞き出したその姿勢があったからこそ、集められた「証言」だったことがわかりました。

戦争体験を語ることなく亡くなった…と、戦争に行った日本兵士の家族の言葉を耳にしますが戦争が終わって真の人間に戻った時、戦地での経験を家族に話せない…これは、当然かも知れないですね。

中尾さんの研究者としての視点を「人類の平和」のために貢献して頂きたいと思いました。そういう意味で今日のお話は、広く、多くの人たちに向けたメッセージとなりました。声を震わせながら話した「戦争は絶対してはいけない…」が耳にこびりつき、中尾さんの深い想いを感じました。日本人元兵士の言葉も、機会があったら知りたいと思いました。

[2018/03/30 11:04](#)

実際に敵を見て、被害をうけ、憎しんだ、人は闘いをリアルに理解しており、対話の努力をすれば苦しんでそれを乗り越える体験を得る可能性がある。

それに対し子孫など実際の体験を持ったことが人がそうした和解にたどり着くのは非常に困難。

中尾知代さんの話より。 togetter.com/li/1213246

[2018/03/29 \(木\) 4:29 午後](#)

先日の深夜便はしっかり聴きました。悲しみは時間が優しく包んでくれますが憎しみは何年でも消える事ないと痛感しました。辛い気持ちを持ちながら日々送られている方々の心が一日も早く解放される事を望むと共に誰もが安心して生活出来る地球でありたいと願います。

[2018/03/30 1:50](#)

ブリカス史観が大正義にされるというのは不快だなあ・・・ ブリカス被害者の会とか国際的に主催されませんかね。インドに中国にスペイン.. togetter.com/li/1213246#c48...

「日本の捕虜になった元英国兵士たちの対日感情に向かい合ってきた方のインタビュー」
togetter.com/li/1213246 にコメントしました。

[2018/03/30 0:01](#)

責任逃れをしたいわけではないのだが「残酷さの遺伝子」は日本人にではなく戦争の従事するために獲得しなければいけないスキルだったのだろうと思う。アメリカにつかまった外国人捕虜も恐らく同じことを言うだろう。
/ “日本の捕虜になった元…” htn.to/LL7pM8LX

[2018/03/29 20:52](#)

戦争時の残虐行為はお互い様だと思ふ / 他 8 コメント b.hatena.ne.jp/entry/s/togetter... “日本の捕虜になった元英国兵士たちの対日感情に向かい合ってきた方のインタビュー - Together” htn.to/25ToZc

[2018/03/30 10:09](#)

中尾知代氏ラジオ深夜 togetter.com/li/1213246

コメント欄が、番組でまさに言っていた「あいつも悪い・両成敗」意識で一杯。オーラルヒストリーという方法論で其々の立場からの経験を「突き合わせる」という氏の態度は、とても誠実で、番組を聴いてもいない人がわらわらコメントしているのと対照的。

[2018/03/30 11:04](#)

実際に敵を見て、被害をうけ、憎しんだ、人は闘いをリアルに理解しており、対話の努力をすれば苦しんでそれを乗り越える体験を得る可能性がある。

それに対し子孫など実際の体験を持ったことが人がそうした和解にたどり着くのは非常に困難。

中尾知代さんの話より。 togetter.com/li/1213246

髑髏になって雑誌の表紙に乗るような扱いの方がよかったのかな

返信 15

[2018/03/24 0:04](#)

うとうとしながら聴いていたラジオ深夜便で、岡山大学は中尾知代氏の話にハッとしました。実際に敵を殺す経験をした者は、相手も同じ人間であることに、天啓を受けるような衝撃を持って思い至る故に全力で戦争に反対するが、戦争を知らない世代は、経験がない故に平気で敵を作り、憎むことができると。

[2018/03/24 11:33](#)

「反抗の意志を示せば虐待され、逃走を企てていると見做されれば射殺された。これは捕虜だけのハナシではなく、彼等兵士達を遥かに上回る数のアジア人労働者も同様であった」

>> 【徹通塾のブログ】『何故、日本が憎悪されるのか?』

[2018/03/23 19:43](#)

連合軍兵士に対する扱い。10人のうち3人を死なせたとなると、これは70万のうち10万人が犠牲となった、ソ連の国家犯罪であるシベリア抑留よりも割合のみならば酷い。大戦中、植民地であったアジアの国々にわが国が何をしたのか？ このあたりから考え直すのも一つと思う。

[2018/03/23 19:33](#)

連合軍捕虜の死亡率。日本軍管理下となった将兵は27.1%、一方で独軍管理下のそれは3.9%（データで見る太平洋戦争「日本の失敗」の真実～毎日新聞出版）と云う数字も。残虐性云々はわからないが、日本兵の死因の半数以上が餓死であった事実を考えると、捕虜を厚遇する余裕など無かったのだろう。

[2018/03/23 9:25](#)

中尾知代さんは留学先の英ウェールズで、かつて大戦に参加し日本軍の捕虜となった老人達に「あなた方日本人のせいで人生を台無しにされた」と詰め寄られた。日本を憎む者はネトウヨの言う「特亜」だけでは無い。戦争を経験した人、その遺族等々、戦勝国である欧米人にもかなりの数がいる。

[2018/03/23 9:00](#)

先程聞いていた NHK ラジオ『ラジオ深夜便』の「明日へのことば」。『日本人はなぜ謝りつづけるのか』の著書もある岡山大准教授・中尾知代さんの「捕虜たちの言葉に耳傾けて」。英エセックス大に留学し捕虜と家族のオーラルヒストリー調査を続けた彼女の話にいろいろ考えさせられた。

[2018/03/28 22:51](#)

元捕虜と日本が国として和解していない。VJ デイが近づくと「日本は最後の捕虜が死ぬのを待っている」等述べる元捕虜の報道が必ずあります。

死亡率でみると日独では桁が違う。独軍の捕虜死亡率が一桁台前半であるのに対し、日軍は 40%近いとの事。比較として、シベリア抑留元日本兵の死亡率が 10%程度 twitter.com/C4Dbeginner/st...

[2018/03/28 18:18](#)

ラジオ拝聴しました。この研究者は今までちっとも存じませんでした。素晴らしい研究をされていたんですね。

- 聴いてもらうとわかるとおり、非常に複雑でセンシティブな内容。日本軍の捕虜虐待がひどかったのは事実として、元英国兵士からインタビュアーがぶつけられる対日感情の激しさ、兵士の妻だった女性の「日本



- [cdb @C4Dbeginner](#) 2018-03-28 06:27:12

また、捕虜虐待という文脈では兵士は被害者だったのだが、英国は明らかに植民地支配を行う側でもあったわけで、インタビュアーはインパール戦(日本のいわゆるインパール作戦を迎え撃った英国側)の兵士として動員されたアフリカ兵の話にも耳を傾ける。「戦闘中に英国将校を射殺し、戦死に見せかけた」



- [cdb @C4Dbeginner](#) 2018-03-28 06:27:58

まだ感想はまとまっていないのだけど、一週間で消えてしまうので、たぶん聴けるのは金曜くらいまでなのだろうか。多くの人に聞いてほしい内容なのでとり急ぎ紹介します。